

(様式2)

農業の新しい技術

No. 714 (平成30年5月)

分類コード 01-14

熊本県農林水産部

はるやまさかえ

褐毛和種種雄牛「春山栄」の選抜

農業研究センター 畜産研究所生産基礎技術研究室
担当者：宮崎佳奈子

研究のねらい

産肉能力直接検定で選抜された種雄牛の遺伝的能力を推定するため、後代牛による産肉能力現場後代検定を実施し、その肥育及び産肉能力により優秀な種雄牛を選抜する。

研究の成果

1. ロース芯面積、ばらの厚さ及び肉質に優れた褐毛和種種雄牛「春山栄」を選抜した。

○血統

父 春山都 (高 90)	祖父 第六春玉E T (特級 107)	— 春玉 (高 44)
	祖母 八さかえ (繁殖 12234)	— 黒重川 (特級 163)
母 第七しげさかえ☆ (繁殖 18477)	祖父 第十六光重 (育高 2)	— 光重E T (育高 1)
	祖母 第六しげさかえ (繁殖 10941)	— 波丸 (高 74)

○登録番号：繁殖203

○生年月日：平成24年11月15日

○生産地：阿蘇市 (栗明 良一)

2. 現場後代検定成績および育種価

○脂肪交雑等級は去勢 5.14、雌 3.75 と優れており、育種価でも 2.698 (評価種雄牛 516 頭中 5 位) と極めて高く、優れた能力を有すると推定される。

○ロース芯面積は去勢 62.6 cm²、雌 57.5 cm² と極めて優れており、育種価でも 10.951 (評価種雄牛 516 頭中 5 位) と極めて高く、優れた能力を有すると推定される。

○ばらの厚さは去勢 8.5 cm、雌 7.9 cm と優れており、育種価でも 0.758 (評価種雄牛 516 頭中 12 位) と極めて高く、優れた能力を有すると推定される。

○SBVは枝肉重量 1.63、脂肪交雑 2.57、ロース芯面積 3.27、バラの厚さ 2.35、皮下脂肪の厚さ 0.09 と改良効果が大きいと推定される。

※SBV (標準化育種価) は、育種価評価値をわかりやすくするために、標準化したもの。値が±1 以上の場合、改良効果が高いことを示す。

3. 特徴

現場後代検定において、脂肪交雑、ロース芯面積が歴代最高の値であり、枝肉重量、ばらの厚さ及び歩留基準値も極めて優れており量質兼備の種雄牛です。「春山都」の後継牛として期待されます。

[具体的データ]

熊本県農林水産部



春山栄 (はるやまさかえ)



格付け:A-5 枝重:560.2kg
 BMS:8 ロース:85cm²
 ばらの厚さ:9.3cm 母の父:第四弦光

表1 現場後代検定成績

区分	頭数	枝肉重量 (冷と体) (kg)	脂肪交雑 (BMS No.)	ロース 芯面積 (cm ²)	ばらの 厚さ (cm)	皮下脂肪 の厚さ (cm)	日齢枝肉 重量 (g)
去勢	7	508.1	5.14	62.6	8.5	3.1	681.5
雌	8	457.0	3.75	57.5	7.9	3.6	637.4
全体	15	480.8	4.40	59.9	8.2	3.4	651.1

表2 育種価(BV) (H30.2 評価)

	順位	育種価	(正確度)
枝肉重量	36	31.756	0.88
脂肪交雑	5	2.698	0.91
ロース芯面積	5	10.951	0.87
ばらの厚さ	12	0.758	0.87
皮下脂肪の厚さ	271	-0.026	0.90
日齢枝肉重量	33	43.58	0.88

※ 後代頭数 21 頭(フィールド成績を含む)

※ 順位は評価種雄牛 516 頭中の順位

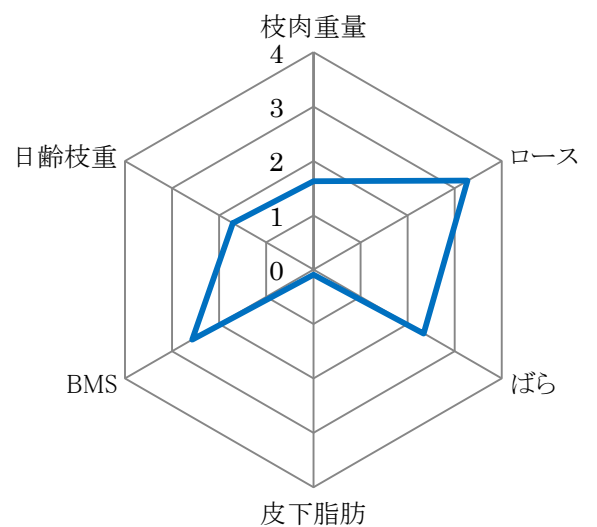


図1 SBV (標準化育種価)

※ 形質ごとに比較でき、わかりやすくするために標準化したもの
 ※ 皮下脂肪は逆符号